

議会報告会報告書

平成24年4月30日

山陽小野田市議会

議長 尾山信義 様

A班

代表 伊藤 實

平成24年3月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成24年4月26日（金） 19:00～20:32

2 開催場所

赤崎公民館

3 参加人数（市民）

3 人

4 担当班議員名

（ 伊藤 實 ）（ 平原廉清 ）（ 岩本信子 ）（ 松尾数則 ）
（ 伊藤 武 ）（ 下瀬俊夫 ）

5 報告会次第

- （1） 議会運営委員会委員長挨拶
- （2） 3月議会の報告
 - ① 総務文教常任委員会
 - ② 民生福祉常任委員会
 - ③ 産業建設常任委員会
 - ④ 一般会計予算審査特別委員会
- （3） 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

① 下水道の状況と今年の進捗状況は。

[回 答]

普及率は、50.5%。今年は、小野田高校から東部へ、埴生地区は、町から駅方面となるが、前年度より1割減が予定である。

② 給食センターは、しっかりと取り組みされたい。

[回 答]

要望として受け取る。

③ 新病院建設地は、横土手の高さが海拔4.1Mで不安だ。

[回 答]

国の津波予測は、示されたが、県より具体的数値や対応が示された後に、取り組む。

④ 給食センター問題は、情報と資料提示が限定されている。

[回 答]

委員会として、多面的な資料請求と質疑の展開を図る。

⑤ 新病院は、医師の確保と津波対策で現地場所が不安だ。

[回 答]

医師数は、開業後5年後時期以降から過剰状態となる。また、場所は、附帯決議を含め、論議してゆく。

⑥ 厚狭新橋の工事追加費用は、業者負担が当然だ。

[回 答]

この度は、上部工工事費との相殺で、追加とならなかったが、次年度において、追加負担が予測される。

⑦ 下水道保守業者が、固定化されていることは、問題だ。

[回 答]

水処理センターの管理業者については、3年ごとに、7~8社の競争入札を実施しているが、最低価格で同一業者だ。

⑧ 産業観光バスツアーの現状と販売促進策は。

[回 答]

ツアーのコースは、19で38回開催される。県内でも一番利用者数が多い。